

臨床研究「COVID-19 パンデミック前後における在宅医療受療者の比較」について

筑波大学附属病院総合診療科では標題の臨床研究を実施しております。概要は以下のとおりです。

1、研究の目的

COVID-19 パンデミック中に新たに在宅医療を開始した患者様の特徴を COVID-19 パンデミック前と比較することで、COVID-19 パンデミックが在宅医療のニーズへ与えた影響について検討することを目的としています。

2、研究対象者

2019年4月1日から2023年3月31日までに、筑波大学附属病院総合診療科の関連施設である、大和クリニック、セントラル総合クリニック、北茨城市民病院付属家庭医療センター、ひたち太田家庭医療診療所、笠間市立病院、神栖済生会病院を受診し、新規に定期的な訪問診療が開始となった方を対象とします。

3、研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年3月31日まで

4、研究の方法

過去の診療記録から情報を抽出し、利用させていただきます。

5、試料・情報の項目

診療記録から以下の情報を用います。

[訪問診療開始時の基本情報（主に訪問診療の導入時面談の診療記録から）]

年齢、性別、居住場所（自宅、施設）、基礎疾患、家族構成、主介護者との関係、要介護度、利用している介護サービス、受診の経緯（自院の患者か他院からの紹介か）、在宅医療導入理由（主に在宅看取り目的かどうか）等

[訪問診療開始後の情報]

2023年9月30日までの往診回数、往診の主訴、入院の有無、入院の原因、COVID-19感染の有無や感染時の対応（在宅継続、入院）、在宅医療継続期間、転帰（入院、死亡（死因や死亡場所も含めて）、施設入所）等

6、利用開始日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始（予定）日： 2023年2月1日

提供開始（予定）日： 該当なし

7、研究責任者名

研究責任者：筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 助教 孫瑜

8、研究結果の公開

取得したデータは筑波大学における研究に利用させていただきます。得られた研究の結果は学会ならびに論文にて発表し、社会に還元させていただきます。なお、個人情報とは特定されない形でデータの収集ならびに解析を行いますので、患者様に不利益が及ぶ可能性はありません。

9、本研究への参加を希望されない場合

対象となる患者さまもしくはご家族で、診療記録を調査に用いることに関して不都合のある方は、対象から除外させていただきますので、当該医療機関の担当者までお問い合わせ下さい。尚、すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

10、利益相反に関して

本研究の研究者等に、開示すべき利益相反はありません。

11、問い合わせ連絡先

筑波大学医学医療系地域医療教育学 担当 孫瑜

電話番号：029-853-3189（平日 8:30～17:15）